

IMAGINE ROTARY

2022-23年度 RI会長／ジェニファー・ジョーンズ
RI.D2590ガバナー／志村 雄治
横浜旭RC会長／安藤 公一

「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。
私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています。」

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川相鉄ライフ 4Fコミュニティサロン
例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



横浜市幼稚園協会へエコペーパー石鹸配布



ガールスカウトとクリーン作戦



鎌倉・江の島へ親睦旅行

2022年7月6日 第2468回例会 VOL.54 No.1

- 司 会 副SAA 岡田 隆
- 開会点鐘 会 長 安藤 公一
- 出席報告

会員数	20名	本日の出席数	15名
本日の出席率	75.00%	修正出席率	78.95%

■本日の欠席者

市川、二宮、東谷

■会長報告

安藤 公一

6月末の酷暑の1週間がやっと終わったかと思ったら台風の影響で梅雨に逆戻りしたかのようなジメジメ天候となり皆様体調維持にご苦労なさっているのではと推察しているところです。

新年度が始まり安藤・新川体制で今後一年やっていきますので、宜しくお願い申し上げます。

就任ご挨拶は後ほど別途行いますので、ここでは地区からの連絡を報告します。

▶地区関係

- 1) 7/7 (木)地区クラブ活性化セミナーが開催されます。安藤が出席します。
- 2) 皆様のお手元にお配りしたように青少年交換留学生が2023-24年度から再開されることとなりました。詳細は資料をお読みください。
- 3) 7/31 (日) 12:30～地区インターアクトサマーミーティング(ワークピア横浜)が開催されます。
- 4) 7/14 (木) 18:30～会長幹事会(新横浜グレイスホテル)に安藤・新川が参加します。

▶クラブ関係

- 5) 9/14 (水)例会時に第3回クラブ協議会を佐藤ガバナー補佐(新横浜RC)の下、開催します。
- 6) 9/28 (水)例会時に志村ガバナーが来訪されます。
- 7) 本日7/6 (水) 13:30～第3回理事役員会を例会終了後に開催します。

■幹事報告

新川 尚

- 1) 例会臨時変更のお知らせ

○新横浜ロータリークラブ

日時 7月22日(金) 夜間例会
新横浜グレイスホテル

日時 7月29日(金) 休会

○横浜港南台ロータリークラブ

日時 7月22日(金) 夜間例会

日時 7月29日(金) 休会

○神奈川東ロータリークラブ

日時 7月29日(金) 夜間例会

日時 8月12日(金) 休会

○保土ヶ谷ロータリークラブ

日時 7月19日(火) 休会

■入会式

祝辞／安藤公一

関口大樹さん。53年に渡る歴史と伝統、例会数2469を数える我が横浜旭ロータリークラブへようこそ。心より歓迎申し上げます。

ロータリークラブとは、「親睦の中から奉仕

の理想を生み出す」非営利団体です。

全世界に120万人の会員がおり、日々親睦と奉仕活動に勤しんでいます。

旭区内に事業所またはご自宅をお持ちの方々が在籍され、様々な業種を代表する多士済々の顔ぶれです。ご自身の会社では最高責任者の地位ある経営者の方々が、ロータリークラブでは一会員として「自分に何ができるか」「地域社会に対し何をなすべきか」を真摯に考え老若男女の別なく自由に発言し、地域・社会貢献に向けて毎週1時間の例会を通じて勉強を重ねています。充実した一回一回の例会を重ねていくことでクラブとしてロータリアンとして必ず前進していくことができると信じています。

勿論、親睦が第一ですので和気藹々の雰囲気、で会員相互に尊敬の念を忘れることなく「寛容の心」を持って、業界や会社組織のしがらみに捉われずに伸び伸びと交流活動・奉仕活動を続けていきましょう。

効果的な組織運営には必ず新鮮な空気が必要です。往々にして閉鎖的な組織の場合、その組織の常識が世間の非常識になりかねません。新しく入会され、良く分からないこと、疑問に思うことがあるかと思えます。どうぞ遠慮なく周りの会員の皆様にお尋ね下さい。改めて聞いて下さることにより、我々も学びを得る機会を与えられ、ロータリー・奉仕の本質をさらに深めることができます。まさに「教えることは学ぶこと」となります。

今回入会された関口大樹様のお力をお借りして、よりよい地域、社会、そして世界平和に向



けて共に楽しく更に充実した奉仕活動を行って行きたいと考えています。入会したてだからと遠慮することなく自ら積極的に活動に参加して頂くことを期待しています。これからのロータリーライフを共に楽しみましょう。

本日は、本当におめでとうございます。

■関口大樹新会員より



皆さんこんにちは、株式会社カナエルの関口大樹と申します。旭RCには、私が幼い頃から父にイベントに何度も連れてきてもらっていて、その度に会員の皆様の温かさ、あと絆の深さを幼いころから肌で感じてきました。

社会人になってから結婚して、子どもが生まれて、子どもをいっしょにクリスマス会に連れてきて、そこでも改めて皆様の絆の深さを改めて感じてきて、その中で私自身もロータリークラブに入りたいという思いが何年も前からありました。

そういった中で、今日この場に立たせていただいて、凄く嬉しく思いますし、感謝を申し上げたいと思います。

若輩者ですが、一生懸命頑張っていきたいと思うますので、よろしくお祈りします。

■ニコニコBOX

安藤 公一／これから1年間宜しくお願いします。関口大樹さんご入会おめでとうございます。これから共にロータリーライフを楽しみましょう。

新川 尚／一年間宜しくお願いします。

関口大樹さんようこそ！

関口 大樹／本日よりお世話になります。

横浜旭ロータリークラブに入会させていただき、うれしい気持ちでいっぱいです。今後とも

よろしくお願ひいたします。

関口 友宏／1. 安藤・新川年度のスタートを祝って。

2. 至らぬ次男ですが、宜しくお願ひ致します。私は安藤達雄会長（現会長の父上）年度に入会、不思議なご縁を感じます。

田川 富男／安藤会長・新川幹事一年間宜しくお願ひ致します。

関口大樹さん入会おめでとうございます。

佐藤 利明／①安藤会長・新川幹事の新年度スタートを祝して。②関口大樹君の入会を祝して。頑張ってください。

佐藤 真吾／①安藤会長・新川幹事一年間よろしくお願ひします。北澤さん市川さん一年間お疲れ様でした。②関口大樹さんの入会を祝して。③妻に誕生祝いのお花をいただき有り難うございます。

五十嵐 正／安藤さん新川さんの新年度を祝って。関口大樹さんご入会おめでとうございます。これからよろしくお願ひします。

増田嘉一郎／安藤年度のスタートを祝して。頑張ってください。

岡田 隆／新年度を迎え。安藤会長、新川幹事、よろしくお願ひします。

関口大樹さん入会おめでとうございます。

宋 謹衣／あつという間に新しい年度に入りました。昨年度やり残した活動が、今年度に完成したいと思ひますので、皆様ご応援ご協力の程、宜しくお願ひします。

ps：旭 RC の YouTube が始まりましたので、是非ご登録をお願ひします。

内田 敏／安藤会長、新川幹事の新年度祝して。

平子 智章／新年度を迎え一年間宜しくお願ひします。関口大樹さんご入会おめでとうございます。これからも宜しくお願ひします。

■幹事就任挨拶 新川 尚

2022-23 年度の幹事を仰せつかりました。会長の補佐という大役に身の引き締まる思いしております。前回幹事を拝命したのは 15 年前 笹田会長年度です。その間色々な事がありましたが、この 15 年の経験を活かし、より良いクラブ運営のお手伝いをしていきたいと思ひます。



今年度国際ロータリーのテーマは「イマジン・ロータリー」です。「昨日のことをイマジン（想像）する人はいません。それは未来を描くことです」と RI 会長ジェニファー・ジョーンズ氏は語っています。横浜旭ロータリークラブの将来を皆様とともに想像し活気溢れるクラブへとさらなる成長をしていければと思ひております。

皆様の暖かいご指導、ご協力をお願ひ致します。

■会長所感 安藤 公一

50 年余りに渡る歴史と伝統、そして数々の奉仕活動実績のある横浜旭ロータリークラブの第 54 代会長を拝命し身の引き締まる思い一杯です。

諸先輩方のご尽力により築かれた数多くの輝かしい実績を決して汚すことなく、少しでも上積みができるように精一杯の努力を重ねていきたいと思ひております。今回 9 年ぶり二度目の会長を務めるにあたり、日々刻々と変化を続ける世界情勢を含む環境の変化に適応し、横浜旭ロータリークラブの会長として、これからも日々研鑽を重ねていく所存ですので、皆様からの更なるご指導、ご鞭撻を切にお願ひ申し上げる次第です。

過去 2 年間余りに渡る新型コロナ禍により一般社会活動にも数々の制限が設けられ、それに伴いロータリークラブの基幹となる親睦活動、奉仕活動も計画通り遂行できない状況となってしまいました。この間の当クラブ首脳陣の尋常ならざるご苦勞に報いられるよう皆様のご協力の下、活動を立て直していく所存です。新型コロナウイルスとの共生の目途もある程度見えてきた中で、さあこれから従前の活動、いやそ



れ以上の目指していこうという気持ちでいるのは、私だけではなく会員全員の皆様が抱いておられるものと確信しています。

2022-23年度ジェニファー・ジョーンズ RI 会長は「IMAGINE ROTARY」を掲げています。「想像してください。私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています。」また「ロータリーでの参加型奉仕、人間的成長、リーダーシップ開発、生涯にわたる友情こそが目的意識と熱意を生み出します。」と述べています。

この RI 会長の基本理念を踏まえた上で、ロータリー活動全てを楽しんでいきましょう。

本年度の方針として更なる当クラブの発展を目指して下記 3 点を掲げました。

- *より強いクラブに向けて目的の共有と自ら参加する意識
- *従来の奉仕活動の再認識、継続、発展
- *中長期的視野に立った組織作りと意識付け

新規会員の増員は、組織活性化に不可欠なものですので、会員全員で取り組んでいきたい問題です。

ロータリーの基本理念である「親睦の中から奉仕の理想を生み出す」クラブに会員皆様と共に一歩でも近づいて行きたく、皆様方からの更なるご協力をお願い致します。

■ 2023-24 年度

派遣・青少年交換学生募集再開について

ガバナー 志村雄治

青少年奉仕委員長 岸 厚子

R) 青少年交換委員長 金子孝春

各クラブにおかれましては平素より青少年奉

仕活動について一方ならぬご協力を頂き、誠にありがとうございます。

当地区青少年交換事業につきましては、2019年7月22日付地区文書「2020-21年度 R 青少年交換プログラム休止のご連絡と今後の方針」でご案内済のとおり、2020-21年度から派遣・受け入れとも中止しておりました。

これは、外的要因として、RIJYEM 立ち上げによる全国レベルの統一事項への対応や世界的に青少年プログラムに係る危機管理体制の強化が求められる一方、内的要因として、会員の高齢化やクラブの縮小化等に伴い、予算面の問題に加え、各クラブ・地区 R 青少年交換委員会ともホストファミリーの恒常的な確保が困難になり、ロータリアン以外の外部者の手を借りないとプログラムの実施そのものが困難となる中で、地区委員会としての情報共有や管理体制に看過できない緩みが生じてしまい、危機管理上のリスク増大に対し適切な対応ができない懸念が生じるに至っていたため、青少年交換プログラムを一時休止しての再構築が必要と判断されたためです。

地区 R 青少年交換委員会では、上記地区文書記載内容に加えて各クラブからご回答いただいた 2020-21 年度アンケート結果等も踏まえて、交換プログラム再構築に当たり検討すべき論点等の整理を 2021-22 年度期初に実施いたしました。

今般、コロナ禍がある程度収束し、世界がウィズコロナに向かう中、RI は、危機管理計画策定により、高い水準での危機管理を行う体制の構築を条件に、2022年7月より交換事業の再開を認めましたが、当地区においては、コロナ禍以前の問題として上記の懸念を払拭した交換プログラム及び管理体制の整備を行う必要があり、今年度の交換実施は見送りました。

そのうえで、上記各種論点等への対応策の検討を行い、時に危機管理委員会とも十分な意見交換を重ねた結果、交換の人数を大幅に減らすとともに派遣生保護者による来日生ホストファミリーの義務付けを募集時より明確化してホストファミリー不足に確実に対応できるようにし

たうえで、危機管理を含む管理体制の整備のための具体策を講じました。

また、派遣生の選考については、交換の人数の減少に伴い、公募制を当面の間見送って募集者を限定することで管理体制強化に資するようにする一方、明確かつ厳格な選抜基準を定立し、公平性・透明性を十分に確保した選抜方法によることを改めて徹底することとしました。

プログラムの大きな制度設計の見直し点の概要につきましては、以下のとおりとなります。

1：ホストファミリー不足への対応（危機管理を含む）

青少年交換プログラムにおける交換人数につきましては、従前の7名から若干名（2～3名）に変更するとともに、派遣生のご家庭に、来日学生のホストファミリーを全期間（約11か月間）お願いすることを基本とし、これを募集要件として明示することとしました。また、推薦した応募者が合格すれば、当該応募者を推薦したクラブがホストクラブ（兼スポンサークラブ）になるという仕組みとしました。

これにより、グループ毎の決定に委ねる形でのホストクラブの決定制度を廃止し、それに加え、従来はホストクラブとは別に、派遣生を推薦していただいたRCをスポンサークラブという名称のもと、約半年間のホストファミリーの手配をお願いしていた制度もなくなりました。

他方で、不測の事態に備えるために、ホストファミリーバンク制度を新たに設立しました。

なお、ロータリーの青少年交換事業ですので、各ホストクラブにて、派遣生のご家庭とは別に、信頼できる他のホストファミリーを手配することもできます。

上記制度設計により、派遣生の家庭で11か月ホストファミリーを引き受けてもらえば、最低限のホストファミリーは確保できるため、慢性的なホストファミリー不足の解消に資することとなり、また、派遣生の家庭であれば、プログラムの当事者であるため、危機管理上のリスクに対しても、責任ある適切な行動が期待できます。

2 危機管理を含む管理体制の整備

① 危機管理体制について

危機管理委員会において、RIの要求する危機管理計画を当地区においても新たに策定し、これに伴って地区危機管理規定も改正しました。

危機管理委員を常任と非常任に分けて、危機に対し機動的な対応を可能とするとともに、新たに外部弁護士と委任契約を締結して、RI及び社会が要求する独立性・公平性・第三者性の確保された危機管理体制を構築しました。これにより、増大する危機管理上のリスクに対しても適切な対応が期待できます。

② 来日生関係について

地区ロータリー青少年交換委員会において、来日学生等確約書などの整備を行い、対来日生関係の危機管理上のリスクに対応できるようにしました。

具体的には、リスク（COVID-19等パンデミック、自然大災害、地政学的リスク等）が来日学生の安全に対して大きいと判断される場合には、交換途中でも、当地区の判断により中止決定ができ、保護者とともに当地区による決定と指示に従わなければならない旨の巨大リスクイベント発生時における交換中止条件を定めました。

また、ホストクラブ指定の学校から退学処分を受けた場合には、交換は終了となり、早期帰国することになるとして、プログラムに適應しない来日生の交換中止条件を定めました。

さらに、当地区側に故意や重大な過失がある場合を除き、来日生とその保護者は、本交換への参加により自らが被る可能性がある不利益について、当地区およびその関係者を訴訟対象としないことに同意するとして、免責条項を定めました。

③ 派遣生（派遣候補生）関係について

地区ロータリー青少年交換委員会において、派遣生等確約書を整備し、各種危機管理や管理体制確保に必要な条件を明記し、同意を取り付けるよう整備しました。

また、ロータリー側に故意や重大な過失がある場合を除き、派遣生（派遣候補生）とその保

護者は、本プログラムへの参加により自らが被る可能性がある不利益(傷害・死亡・財産損失等)について、ロータリーおよびその関係者を訴訟対象とせず免責することに同意するとして、免責条項を定めました。

④ 来日生が地区外旅行届なしで移動できる範囲の明確化について

当地区の範囲は、横浜市・川崎市で構成されるため、地区外旅行届を必要とする地区外を当地区の範囲外とすると、東京都内や横浜市・川崎市以外の神奈川県内などへの移動についても、地区外旅行届が必要となるため、プログラムの合理的な運用が困難となり、その結果、地区外旅行届が適切に提出されない事態を招来してしまうという懸念がありました。

そこで、ロータリー章典において、「地区外旅行届を必要とする範囲は、地区にて、合理的な範囲を定めることができる」とされていることを受け、危機管理及び管理体制上、合理的と考えられる範囲である神奈川県内(山間部を除く)、東京都内(山間部、島嶼部を除く)、千葉県浦安市(東京ディズニーランド)と明確に定め、危機管理及び管理体制上の疑義が生じないようにしました。

3 派遣生の応募資格と派遣生の選考

① 派遣生の応募資格について

従前行われていた公募による派遣学生の募集は、当面の間見合わせることにし、応募対象者について、派遣期間中は、派遣生の家庭で来日学生のホストファミリーをお受けいただけることを前提条件として、下記の者に限ることとしました。

記

横浜市・川崎市に在住かつ在学の日本国籍を有する応募時年齢 15 歳以上 17 歳以下の高校 1・2 年生(中高一貫校での高校進学意思のある中学 3 年生も可)で、インターアクト認定校の在籍者、または、国際ロータリー第 2590 地区のロータリークラブ会員の 2 親等以内の親族

この点につきまして、前記のとおり、青少年交換プログラムにおける交換人数が、従前の 7 名から若干名(2~3 名)と減少することから、1つの学校・1つのクラブからは 1 名のみの推薦とさせて頂くこととし、1つの学校若しくはクラブにおいて、複数の希望者による応募があった場合、学校若しくは推薦クラブにおいて 1 名を選考し、推薦していただくことをお願いしたいと考えております。

対象者を限定することには賛否があらうかと存じますが、対象者を上記のとおり限定することは、学校や保護者等関係者との連携を図りやすくするもので、危機管理上のメリットが大きいものです。従前は、グループ数に合わせて 8 名乃至 7 名もの派遣生をコンスタントに確保しなければならなかった関係で、公募する必要がありました。人数を若干名(2~3 名)に抑えることで、上記のとおり対象者を限定することが可能となりました。

② 派遣生の選考について

明確かつ厳格な選抜基準を定立し、公平性・透明性を十分に確保して、総合的・公平的に判断することとし、最終決定はガバナーとガバナーエレクトが行うことを改めて徹底することとしました。

③ 交換相手国の選定について

過去の交換実績のある国で、交換期間中に大きな問題の発生事例が少なく、信頼できる国々の中から、決定時点における諸情勢を踏まえてガバナーとガバナーエレクトが最終決定することとしました。

以上のとおり、従前の懸念を払拭すべくプログラムの抜本的な見直しや管理体制の強化のうえ、交換事業を再開させて頂く運びとなりましたので、その旨ご報告いたします。

2023-24 年度派遣・青少年交換学生募集要項につきましては、近々に別途ご案内いたしますので、各 RC の会員の皆様にはこのプログラムの再開にご理解頂きますよう何卒宜しくご願ひ申し上げます。

以上